



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp



日音協がオーケストラ

平和を求める歌を日比谷
野外音楽堂から世界へ



送り出し演奏

ロシアのウクライナ侵略開始から3年が経過した2025年2月24日、日比谷野外音楽堂にて、『ウクライナに平和を！核兵器を使うな、原発に手を出すな』が、原水禁と総がかり行動主催で開催されました。日音協は、そのオーケストラ演奏を担当しました。

演奏した曲は6曲（①明日戦争が始まる、②戦争の誘惑に乗ってはいけな

い、③決意、④武器を捨てて、⑤あたりまえの地球、⑥ノーマア WAR。演奏者は、東京都支部の森理子さん（アコーディオン）、田中珠萌さん（フルート）、そして、歌のあつまり「風の指揮者であり若い会員の交流会にも参加したことがある笠村さん（サクソ・フルート）」と、笠村さんの音楽友達の沢さん（ガットギター）、そして中央幹事から会長の松本さん（ベース）、そして坂口（ボーカル）の6人。本番前の3時間、近くのスタジオで音合わせと演奏上の確認をしたのみの、ほぼぶっつけ本番の演奏となりました。

本番は、風の強い寒い日にも関わらず、開場時から結構な参加者が入場し、曲の進行とともに会場席も埋まっていくなか、曲に合わせて踊る姿も見受けられました。終曲では、ステージと客席からの『ノーマア WAR』の合唱で本集会につながることができました。練習らしい練習もできずに迎えた本番を前に不安いっぱいでしたが、演奏スタート時でその不安は一掃されました。悪条件をおして最高の演奏を会場に届けることができたのは、松本さんの演奏アレンジと、皆さんの演奏力のおかげです。紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

集会後は、街頭への訴えのデモに繰り出す方々を音楽で送り出しました。初参加の笠村さんからは、「いつもこんな感じでやっているんですね。良い経験させて頂きました。」と、嬉しい感想をいただきました。（坂口美日）

第56回はたらくものの音楽祭
2025年10月18日(土)~19日(日) 長野県千曲市・戸倉創造館

手ぶらで参加のライブハウス 長野県支部が前哨戦

2月15日、長野県支部は長野祭典の前哨戦として新春ライブを長野駅近くの拓郎エイジというライブハウスでおこないました。14時から17時30分までの貸切時間をゆるりと使いながら大沢さん、イチローさん、あさひバンド、せな&みゆ、パールライス、唯一無二ゆ、が出演しました。

ツマミ、飲み物は各自で、ゴミは持ち帰りの設定で、なんと料金は5000円の格安！ギターはマーチン、ギブソンを勝手に使用し、ベース、ドラム、キーボードも勝手に！

こんな素晴らしいライブハウスがあるでしょうか!? おかげで手ぶらで参加する大沢さんと私でした。

10月の祭典に向け大いに盛り上がりました！おかげでローカル線の出番は消えた次第です。
(塚本)



ホテル清風園の施設



2月17日(月)、長野市内で第56回はたらくものの音楽祭長野県実行委員会の結成会議を開催しました。会議には、連合長野から根橋美津人会長、小松豊事務局長と小日向茂副事務局長、日音協長野県支部から大橋孝宏会長、大沢隆男事務局長、喜多英之さん、藤沢真一郎さん、塚本茂子さん、塚本昇さん、そして日音協松本敏之会長が出席しました。

会議の冒頭、日音協松本会長(第56回はたらくものの音楽祭中央実行委員長)のあいさつに続き、連合長野根橋会長があいさつ。「日音協には県中央メーデーのうたごえを担っていただいている。コンセプトは『つくり・うたい・ひろめ・つなげる』とつながっている。平和・人権・環境・労働をまもる活動に敬意を表する。1月に長野駅前で痛ましい事故があった、世界でも地域でも有形無形の暴力・人権侵害がある。労働運動も平和の活動に取り組んでいる」と話しました。

根橋会長を実行委員長に、日音協長野県支部大沢隆男事務局長を事務局長に、長野県実行委員会を結成することを確認しました。

引き続き、第56回はたらくものの音楽祭企画書(案)について、県実行委構成組織をはじめ県内労組、民主団体への協力要請について、会計について、長野県実行委員会企画について、音楽

祭テーマについて議論し、今後、10月18日、19日の音楽祭に向けて事務局を中心に詰めていくことにしました。今後、連合長野構成組織や県平和・環境・人権労組会議構成組織にも実行委員会への参加を呼びかけることにしました。第2回実行委員会は6月の中旬の平日に開催することになりました。
(松本敏之)



第56回音楽祭長野県実行委員会を結成

第51回富山県支部総会開催

日音協富山県支部第51回定期総会を2月12日(水)午後6時30分より富山市・自治労とやま会館において、代議員(出席7+委任7/14)、役員(8/11)+傍聴1人+来賓(連合富山)の17人が出席。平井義信事務局長の進行で開催しました。

総会は、「長崎平和祈念像の歌」を歌って開催し、鴨野会長あいさつの後、来賓としてご出席いただいた連合富山の太西吉史事務局長から連帯と激励のご挨拶をいただきました。

また、日音協中央からのメッセージを読み上げ、富山県平和運動センター、立憲民主党富山県総支部連合会と



社民党富山県連合会からいただいたメッセージを紹介しました。

議事は、2024年度活動経過報告・総括や決算報告・会計監査報告、2025年度方針(案)・予算(案)を一括提案し、質疑討論しました。

代議員から「歌う場があったから、仲間とのつながりがあった」「アコを続けていることで新しい仲間との出会いがあった」「これまで歌に助けられ、乗り切ってきた」「若い人を増やすことが課題とあるが、具体的にどうするのか」など活動の報告や支部活動への意見などの発言がありました。

平和憲法をまもろう



「9条をまもり憲法をいかに富山県民の会」第21回定期総会が2025年2月11日、自治労とやま会館でありました。

開催に先立ち、『長崎平和祈念像の歌』『世界とともに』『私は忘れない』『決意』の4曲を演奏しました。『長崎平和祈念像の歌』を披露するのは初めてで長い曲でもあるためとても緊張しました。

記念講演は吉井千周富山大学准教授による、演題「憲法が国民に約束した世界 非武装中立の現実性」でした。お話の中で「憲法を守るのは「国」。憲法は人権を守る規定が書かれているから大事。愛があふれている。平和＝戦争のない状態ではなく、人間の安全保障である」との話にとっても共感しました。

私たちの歌『決意』にも言及頂きました。私も歌うときはいつもいつも涙がこぼれそうになります。日本国憲法は崇高な理念を高らかに掲げていて世界に誇るべき宝で大好きです。

世界では今なお殺し合い憎しみの殺戮が繰り返されていて、毎日毎日とても辛い気持ちですが、あらためて自民党の改憲案を絶対に許してはいけなとの決意を新たにしました。

(加藤葉子)



磯野さんと9条マモルちゃん

主な活動である「第56回音楽祭(長野県開催)」や積極的に演奏活動を進めるなどの方針、新年度役員体制も含め議事のすべてが承認され、新任の能澤副会長から挨拶の後、総会を閉会しました。

今後引き続き、構成団体、会員、機関紙購読者など県内の皆さんのご協力をお願いします。

また、音楽運動50年の節目を迎えており、これからの活動、組織等の在り方について協議していきたいと思っています。

(磯野友一)

2025年度役員体制

会長	鴨野 浩一(自治労)
副会長	能澤 英樹(県教組) 新
事務局長	磯野 友一(自治労)
事務局次長	大門 悟(ししの子)
会計監査	久保田 誠(富山地鉄労組)
〃	門廻 宏昭(県教組)
〃	加藤 葉子(CAM)
〃	平井 義信(CAM)
〃	屋敷 正人(CAM)
〃	中田 信男(ししの子)

＜労働者文学会第2回「生涯現役の会」＞

窪田聡 『うた＝時代を語る』

～歌を聴きながらみんなで語り合おう～

歌声運動、日音協、＜鈍工房&自由空間DON＞等で働くものの音楽運動を長年実践されてこられた窪田聡さん（岡山県瀬戸内市牛窓町在住、90歳）を招いて、歌を聴きながら自らが歩んでこられた歴史を語ってもらい、交流します。

*日時 2025年4月13日(日)14時～17時

*場所:本郷文化フォーラム

(文京区本郷3丁目29-10 1階)

地下鉄丸ノ内線・大江戸線「本郷三丁目」徒歩5分

*参加費:1000円(懇親会参加者は別途3000円)

※会場が狭いので、事前の予約をお願いします。

*参加申し込み先

高橋(労働者文学会 ☎090(4385)7973)

坂口(日音協 ☎090(7945)6400)

*主催 労働者文学会 共催 日本音楽協議会



沖縄の感動をDVDで!

第55回はたらくものの音楽祭

2024年9月21日～22日 那覇文化芸術劇場なはーと小劇場

ブルーレイディスク2枚組

1セット3000円(送料込)

《注文先》

〒8620916

熊本市東区佐土原1-8-45-1005号

山田力

☎ 090-4514-7398

国交流会

昨年9月、沖縄県那覇市で開催された第55回はたらくものの音楽祭のブルーレイディスクが出来ました。音楽祭の一日目・二日目とゲスト及び全国交流会のすべてを収録しています。(歌詞テロップ入り) 必要な方は、上記の注文先までお願いします。



2月23日(日)、豊島区駒込地域文化創造館の会議室において、東京都支部総会を開催しました。体調不良での欠席もありましたが、17名が出席。議長に松崎歌子さんを選出しました。

東京都支部の活動は、東京という土地柄もあり、行動への参加やそこでの演奏が多くなっています。しかし総会の中では「都支部の存在目的が『音楽』ではなく『行動』

東京都支部が総会を開催 もっと音楽を高めよう活動の場を広げよう

- 事務局体制は以下の通り
- 支部長 狭石啓子
- 副支部長 白石信吾
- 事務局長 森理子
- 事務局 岩藤範雄
- 事務局 広瀬芳弘
- 事務局 長島千代美
- 事務局 小林満

活発な議論の中、『もっと音楽を高めたい』という思いで活動方針を確認し、2025年の東京都支部の行動を開始します。(森理子)

に偏っていないか」「歌いっぱなしのスローガンの音楽だけではなく、しっかりと演奏に取り組み、積み重ねたい」といった意見や、「サークルそれぞれが独自で、あるいはジョイントでコンサートを開いてはどうか」と意欲的な発言がありました。また、毎週の練習を重ねているサークルからは、練習会場を借りている施設を中心に地元と繋がっている報告があり、いろいろな形での会員の努力を共有することができました。

2024日音協ソング推薦曲 (2/3)

詩曲=塚本茂子

1. ゆうきをもってか こをわすれ げ んじつの なかに いきるの だ
2. かあさんかおを見 せてください も う見られないかも しーれない

5. こんやくしゃのきみ にあいたい は なしたいー むーしように わがやの上ー空ー お わかれのー あ いさつです

9. いくさばのそら ベ に こうろ よつかごといた てが みです ちーんのそら や けおちば いえを 去るまえの 遺 書です

13. あなただけ あなたー あなただけ どうぞにげてー あなただけ あなただけ どうぞにげてー

18. きせきのいのち あいて き て くちにだせない ころふみを きせきのいのち あいて き 言てやれなかったー ころふみを

23. みせたーかつ たー にっぼんじんとし て りっぱ にいきられたー こぶしにとわ にー

28. あな がー のこしたもじのむ こうがわー にんげんらしく い

32. きていたいと い っではならぬ さ ざなみが かえすー

37. 3. ちはすがたこそ みえざるも い っもおまえたちを 見えています

41. おうまさんにはな れませんが ひ とのとうさん うらやむな

45. ちらんのそら ベ にこうろ ちちをかんじる てが みです あのそらよ

50. あおのそら あおのそら よ うそいってー きせきのみらい ほし かつ

56. た おとなになった ころふ みよ とど いてます かー

61. ちらんのそら や けおちば しゅつけきまえのー こと ばたち

65. くちにだせなかったー ころふ みよ こぶしにとわ にー

69. くちにだせなかったー ころふ みよ こぶしにとわ にー

青森県支部も総会を開催しました

2月5日、昨年埼玉から戻った中田さんの歓迎会を兼ねて新年会を予定しましたが、8名の参加となり、急きょ、支部総会に変更しました。それぞれから近況の報告等を行い、今年度の活動を確認しました。役員は全員再任となりました。(佐藤)



水道橋 だより

▼本日(3/1)～3/2、日音協セミナー・創作講座が開催されています。東京都小平市・学園坂スタジオにて、市野宗彦さんを講師に、13名が参加しています。

▼4月号で詳細は報告することにして、今月号では写真のみ掲載したいと思います。(佐藤)



佐伯さん

市野さん



講座風景

歌の力が物語るもの139

茉萸坂うた行動 2/7 (533回) 報告 Rico

【参加者】鈴木さん、スーさん、守屋さん、イサさん、ユキさん、ユキさんのお孫さん、周平さん、森 計8名

ユキさんが二人連れでやってきた。「孫ですー」の言葉にびっくり。高校生だという女の子。こんなに大きなお孫さんがいたんだ。こんな寒い日に一緒に来てくれるなんて、なんて良い子だろう。茉萸坂が一気に若返った。

『あたりまえの地球』から歌い始める。寒波の夜、指がどんどん冷えていく。周平さんが剥き身のコントラバスをカートに乗せてやってきた。歌っている歌の途中から弾き

始める。低音が加わり、音が膨らんでいく。続けて、寒い夜には特に歌いたい『あなたに届け』と。『あてなく逃れぬ雪の夜道を』の歌詞が沁みる。『子どもらの明日のために』『明日を殺すな』と歌い進む。今日は前々回に約束した『童神』のヤマトグチの歌詞カードをつくってきた。ヤマトグチになってもところどころにウチナグチの『ていだ』『かなしうみなしぐあ』などがある。お孫さんもちることだし意味を確認しながら歌った。やさしい子守歌。『童神』って深い題名だなと思う。お孫さんが知っている歌を、と『ピリフ』を歌う。

周平さんがトランペットをでメロディをつけた(コントラバスの日もいろんな楽器が出てくる)。このあと「知っているうた」について世代間差が判明。『そんな世界が一番』を歌ったのだが、高校生はカーペンターズを知らなかった! 私たちはリアルタイムで聴いていたが、周平さんの時は教科書に載っていたという。ほ

詞は1948年4・24教育闘争を歌っている(4・24)を、朝鮮語の数字の読み方で「サ・イサ」と読む)。占領時、強制も含む徴用で「日本国」の良いように名前も言語も奪った歴史があり、戦後、そこからの解放を求める行動を政治情勢を盾に翻弄し弾圧してきた。今も差別が繰り返されていることに怒りがわく。私たちの国は人権に疎い。原発も沖縄もそう。あらゆるところで痛感する。抵抗の声を上げる人々に連帯したい。歌っていると体は温もるが、指は冷えてアコーディオンのベースボタンが探しくなってきた。弦楽器は金属弦が冷たいだろう。最後は『メッセージ』。元氣よく歌いあげて寒波の夜の行動は終了。お孫さんを囲んで記念撮影をした。

どん行

(188)

飯島貞親

止を選択する勇気はない。

▼「入場券、ついにバナナをまねて売り(朝日川柳)」▼4月の万博に暗雲が立ち込めている。建設費は膨らみ続け、1平米あたり80万円もするパビリオンは、欧州の普通倉庫の10倍も高い。▼AI技術の発展であらゆる発見がワンタッチでできる時代、ほとんどの都市は万博にもう存在意義がないと考えている。日本を世界に示す場であるが、最終的には好意よりも恨みを買う結果になるかもしれない。参加国は日本の建設会社の消極的な姿勢にも驚いている。建設会社は大阪万博を受け入れ、自分たちの技術を世界にアピールするものだと思っていた。しかし、大手ゼネコンは万博を真剣に捉えていない。海外勢の要望にこたえるのは、参加国の傲慢さによってより難しくなっている、と日本のゼネコン幹部は言う。万博は在日外資系企業の間でも不評で、駐在員は本社の参加要請を拒否している。▼万博の主催者は状況を隠そうと必死だ。メキシコとエストニアが万博からの撤退が明らかになったら、5カ国が参加したと担当者は反論。開幕までもうすぐだが、費用は膨大に膨れ上がり、税金に飛び火している。▼日本は戦争に負けるかわかっていながら回避できなかった。またもや、誰も中止を選択する勇気はない。